

## 第2回札幌文化芸術未来会議

日 時 令和3年1月5日（火）午後3時から

### 会 議 次 第

#### 1 開 会

#### 2 議 事

- (1) 札幌文化芸術未来会議とアンケートについて（事務局説明）
- (2) アンケート調査について

##### 【想定】

- ・ 個人向けのアンケートの確認
- ・ 団体向けのアンケートの確認
- ・ 入り口ページの原稿の確認
- ・ アンケート広報のアイデア出し
- ・ 調査結果の周知方法 など

#### 3 閉 会

##### ○配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料1 札幌文化芸術未来会議とアンケートについて
- ・ 資料2 第1回札幌文化芸術未来会議 ディスカッションのまとめ
- ・ 資料3 令和2年度札幌市文化芸術活動実態調査（個人の方向け）
- ・ 資料4 令和2年度札幌市文化芸術活動実態調査（団体・事業者向け）
- ・ 資料5 調査入口ページの原稿案

# 札幌文化芸術未来会議 とアンケートについて

2021年1月5日

- ・札幌市文化部
- ・札幌文化芸術未来会議  
委員長 関 鎮京  
副委員長 酒井秀治

# 札幌文化芸術未来会議とアンケートについて

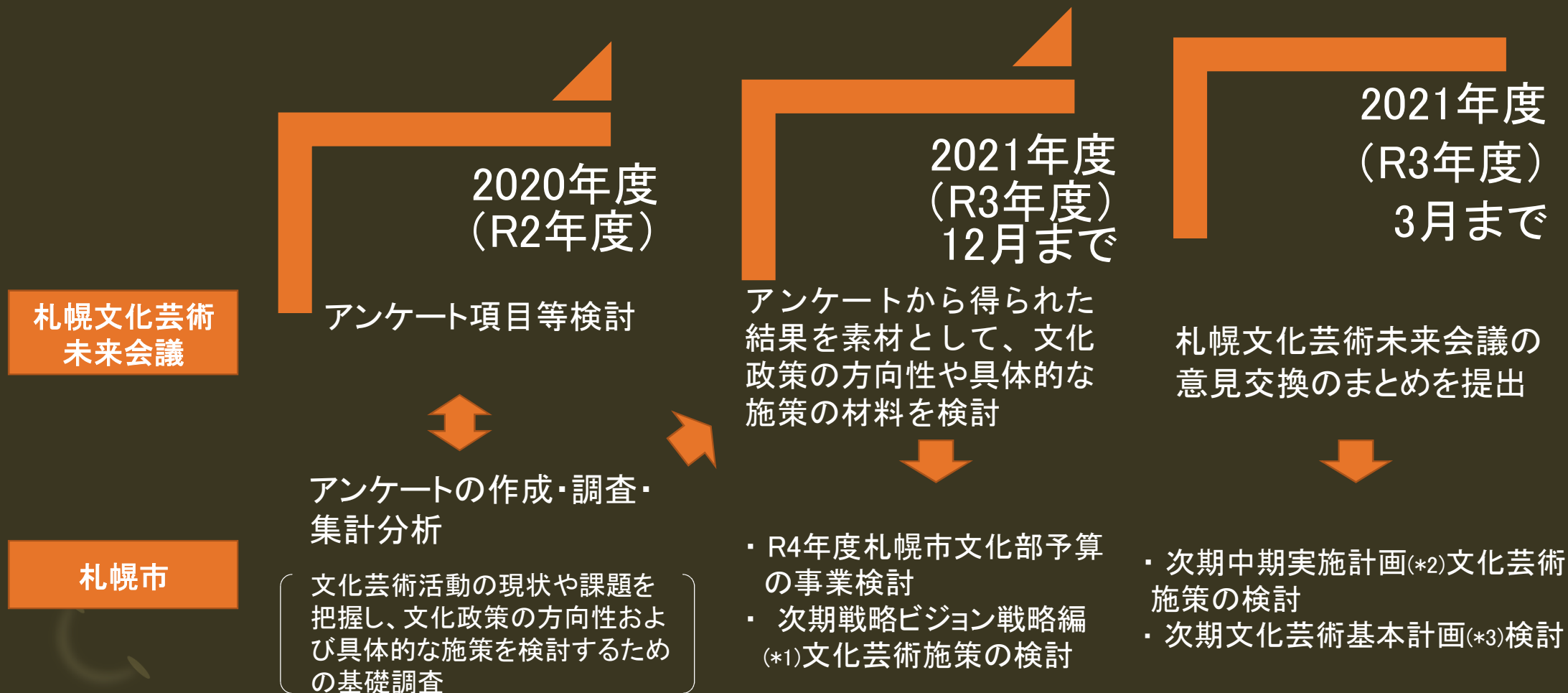
○札幌文化芸術未来会議とアンケートを通じて、文化芸術活動にかかわっている市民などの意見等を文化政策・施策の検討に反映し、市民の声を取り入れた文化政策づくりを推進する。

○文化芸術活動の現状、課題及びニーズを幅広く把握するために、アンケート調査を用いる。

○札幌文化芸術未来会議では、アンケート結果も用いながら、文化芸術活動の各分野での実態等も踏まえ、文化政策の方向性や具体的な施策の材料を検討する。

○市民ニーズ等の意見を収集(アンケート)→それに基づいて政策・施策の材料検討(札幌文化芸術未来会議)→政策・施策を検討し、具現化・実現する(行政)

# 札幌文化芸術未来会議と札幌市の役割



\*1「札幌市まちづくり戦略ビジョン(戦略編)」(平成25年度～平成34年度)の次期ビジョン 次期中期実施計画 \*2「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」(平成27年度～令和元年度)の次期基本計画 \*3「札幌市文化芸術基本計画(第3期)」(令和元年度～令和5年度)の次期基本計画

# アンケートの目的など

## 文化芸術活動実態調査【今回初】

- アンケートは、文化芸術活動の現状、課題及びニーズを幅広く把握し、文化政策の方向性および具体的な施策を検討するための基礎調査である。
- 対象：札幌市に在住又は札幌市を主な活動拠点として、文化芸術活動を行っている方
- 期間：2021年1月下旬～2月中旬
- 調査結果：3月中
- アンケート方法：インターネット・オープン型（FAXなどでの回答も受け付ける）

※このほか、毎年2月頃に、無作為に抽出した市民5,000人の方を対象に文化芸術に関するアンケート調査（「文化芸術意識調査」）を実施。

## 第1回札幌文化芸術未来会議 ディスカッションのまとめ

## 札幌市の文化政策における重要課題について

## 文化芸術と他分野の連携

分野	取組みの視点	施策案
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果などの活用による情報共有</li> <li>小中学校、専門学校、大学、美術に携わる機関との情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の環境情報を芸術家に提供共同での創作・表現活動へ活用</li> <li>美術作家を身近に感じてもらうための社会科見学・スタジオ見学、鑑賞ワークショップ</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる価値観を持つ他者との協働の場づくり</li> <li>行政内の横断的な体制による情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育現場にアーティストが介入したアート創作の体験カリキュラム</li> <li>ヒアリングによる福祉支援要望の把握とそれらを視野に入れた制度設計や施設運営への反映</li> </ul>
観光・経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>許可申請の煩雑さの解消</li> <li>文化芸術振興に関する資金化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルムコミッションの許可申請等の一括化</li> <li>民間企業との連携（スポンサード、ロビー活動）担い手に再配分する助成枠の強化</li> </ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術家への活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機材・技術・人材等のインフラの共有化</li> </ul>
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染予防対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療従事者による施設・現場の対策評価</li> </ul>

芸術団体/コーディネーター/マネージャー/支援者をつなぐ役割、企業が芸術支援をするとメリットとなる仕組みづくり

## 連携されない理由・原因

## ●アーティストとマネジメントの立場で異なる価値観

- 情報の欠如、人見知り
- 人材交流がない、交流機会がない
- きっかけがない
- 自分のアート領域にこそ意義があり、連携したり、他分野に活かすことに価値を見出せない
- 文化芸術の敷居が高い
- 他分野、企画側がアートを活用する意識が弱い

## 連携するメリット

## ●「芸術」を「社会」に活かす

- 新しい表現、可能性との出会い
- 既存の制度や仕組みの見直しにつながる
- 創作活動の質の向上
- 他分野にこそ活用するメリットがある
- 共助関係の構築
- 活動範囲、機会の増加
- 自己の表現活動に対する意識の向上

## 助成制度・事業

- 芸術家⇄連携者（行政・企業・地域コミュニティ etc）との通訳（コーディネーター）、言語の違いを繋ぐ人への行政の予算化
- 40歳以降の中堅作家の支援。年長的に、子育て、副業という別側面も充実していくケースもあり、本業の美術活動による金銭面の圧迫により活動が継続しない
- 芸術家や芸術文化団体が新しい創作を展開していく際のプロセスに対する支援
- 行政内での他部署が行う取組の把握と数字に対する成果指標的なものではない成果の設定
- 市民の文化活動の窓口になれるような仕組み、組織。SCARTS等の既存の組織の充実化
- 広く行き渡る助成（数多く、金額安い）と、深く集中的に行き渡る助成（数少なく、金額高い）のメリハリ
- 額が少なくても、わかりやすく、幅広い支援
- そもそもの助成制度に関する周知
- 助成を行う側の理念や、芸術が内包するメッセージや社会への役割を理解したうえでの支援をする姿勢

## アンケート調査について

## ●実態調査の対象・ターゲット

- 文化政策は受け手側である市民の意識把握も大事である。
- 今回のアンケートは、前回のアンケートで届かなかった人にも拡げて実施する必要がある。
- アンケート調査についての情報発信が必要。前もって偏りがないように行政から投げかけていく。委員のネットワークでも情報提供してほしい。
- 文化芸術の担い手は、割と曖昧なので定義があると良い。
- 文化芸術活動の関わり方には、アマチュア、専業、ボランティアなど様々である。
- 広く市民に対するアンケートかによっても内容が変わる。ターゲットを明確にするべき。

## ●対象者の分野・立場

- 分野については、細分化しすぎない方が良いのではないかな。
- アンケートの目的により分類の考え方もかわるのではないかな。
- 音楽分野でもポップス系/クラシック系では必要な助成内容は違うかもしれない。
- 大きくくりにしすぎると政策に反映するためのニーズを把握できないのではないかな。分類の加減が大切である。
- 職業として考えると分野ではなく立ち位置・役割でかわる。
- それ自体が生業か、副収入程度か、生業にしたいのか、生業にする気はないのかという分類もあるのではないかな。
- 音楽では、プロデューサー/演奏家、美術では、作家/マネージャーといった立ち位置の違いもある。
- ダンスの場合だと、コンテンポラリー/ストリート/ラテンなど、そもそもの背景にある人種・文化により全く異なる。
- 文化芸術の場合、食えてるからプロ、好きでやってるからアマ、みたいな考え方は変えた方がいい。
- 分野と立場でクロス集計すると実態把握できるのではないかな。
- 助成金活用の有無も実態を把握しやすい。
- 生涯を通して芸術活動をする・社会に対して表現を発表していく意志がある者をプロと定義できないかな。

## ●アンケート設計の進め方

- アンケートの設問を考える上で、ベースになる考え方、アンケートのひな形・大まかな項目などを示してもらった方が良い。
- 基礎的な実態調査として属性など最低限聞く内容についてはあらかじめ提示してほしい。
- 実態調査の目的・趣旨、施策に反映するために聞きたい内容について事務局側で整理し、共有した方が良い。
- テーマ設定があって、分担した方が効率的ではないかな。
- 設問自体ではなく、まず各々の立場で困っていることを出し合い、それらを出させるためのアンケートを考えるというプロセスが大事だと思う。
- 委員各々が自分に近い人たちに困りごとなどを聞いてこの場に持ち寄ることも考えられる。
- 文化芸術活動だけでなく、生活に関わる部分での困り事についても聞けた方が実態がわかる。
- 困り事だけでなく、希望的・要望的なことも聞けたら良い。
- 3回の会議ではまとまらないと思う。メーリングリストのような形で、常時言い合える環境が必要ではないかな。
- 文化部だけでなく、役所の横のつながりを活かして、観光・環境・経済など他の部署の話も聞きながら進められたら良い。

- 文化芸術活動に関わる人を対象とした本アンケートと市民全般を対象とした意識調査について位置づけを再整理する
- 会議での意見は市民意識調査の項目（2～3程度）にも反映する

- 活動実体を把握し、それらを文化施策に反映するという目的にあった分類方法について事務局で案を作成する
- 文化芸術活動への関わり方・立場についても設問とする

- アンケートの目的を再整理し、項目の骨格・軸について事務局側で案を作成する
- どのような困り事があるかも含めて委員から意見を募る
- 次回まで有志メンバーによるワーキンググループで内容を検討する



令和 2 年度札幌市文化芸術活動実態調査  
ウェブアンケートフォーム版個人向け調査票案

<凡例等>

- ・ Q の番号は設問整理表に合わせています（最終的には単純な連番になります）。
- ・ **※赤字**は調査票設計・検討における留意点・要確認事項です。
- ・ **灰色網掛け**は回答条件設定。ウェブアンケートフォームでは表示されない部分となります。
- ・ **青色網掛け**は、ウェブアンケートフォームでも、紙の調査票でも表記する部分です。
- ・ <SA> 単一回答、<MA> 複数回答、<1~2A> 2 つまで回答可、<IN> 数値回答、<FA> 自由記述回答。

※以下からウェブアンケートフォームの原稿（テキスト）です。

## 令和 2 年度札幌市文化芸術活動実態調査（個人の方へ向け）

- ・ この調査票は個人の方へ向けです。団体・事業者向けの調査票は[こちら★リンク★](#)です（※団体・事業者向け調査は代表者またはそれに代わる方にてご回答願います）。
- ・ ご回答は 1 人 1 回にてお願いします。
- ・ ご回答必須の設問はありませんので、回答したくない設問は無回答でも結構です。ただ、札幌文化芸術未来会議・札幌市では、いずれの設問についても、札幌市における文化芸術活動振興策を検討する基礎データを得るために大切と考えております。極力ご回答・ご協力いただければ幸いです。
- ・ 調査は無記名式で、調査結果は統計的に処理するため、個人・団体等が特定される形で公開されることはございません。

**まず、あなたの基本情報をお聞きします。**

Q0-1. あなたの性別をお答えください。<SA>

1. 男性    2. 女性    3. その他

（佐久間）3「その他」を「無回答」にする。

（古家）3「その他」に違和感があれば、「1、2 以外」とする。

**Q0-2. お住まいの区をお答えください。<SA>**

- |              |        |       |        |         |
|--------------|--------|-------|--------|---------|
| 1. 中央区       | 2. 北区  | 3. 東区 | 4. 白石区 | 5. 厚別区  |
| 6. 豊平区       | 7. 清田区 | 8. 南区 | 9. 西区  | 10. 手稲区 |
| 11. 札幌市外 ( ) |        |       |        |         |

**Q0-3. 年齢をお答えください。<SA>**

- |        |        |        |          |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代   |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80代以上 |

**文化芸術分野の活動状況や制作環境についてお聞きします。****Q1-1-1. 現在、あなたが力を入れて取り組んでいる文化芸術活動を 3 つまでお答えください（※次問以降ではここでご回答いただいた「文化芸術活動」についてお答えください）。<1~3A>**

- |  |              |
|--|--------------|
| 1. 【文学】小説  | 2. 【文学】戯曲    |
| 3. 【文学】随筆・詩・俳句・短歌・連句                                       | 4. 【文学】評論・批評 |
| 5. 【文学】その他   |              |
| 6. 【音楽】クラシック音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽等）                     |              |
| 7. 【音楽】ポピュラー音楽（ジャズ、HIPHOP、R&B、FUNK、SOUL、ポップス、ロック、歌謡曲等）     |              |
| 8. 【音楽】邦楽（琴、三味線、尺八、笛・声明等）                                  |              |
| 9. 【音楽】エレクトロニカ・電子音楽  | 10. 【音楽】民族音楽 |
| 11. 【音楽】イージーリスニング  | 12. 【音楽】その他  |
| 13. 【美術】造形（絵画、版画、彫刻）                                       |              |
| 14. 【美術】工芸（陶芸、書、染織、クラフト）                                   |              |
| 15. 【美術】写真・映像  |              |
| 16. 【美術】パフォーマンス（舞踊、演劇以外の身体芸術）                              |              |
| 17. 【美術】複合芸術・アートプロジェクト                                     | 18. 【美術】その他  |
| 19. 【演劇】演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカル、パントマイム、大道芸）                     |              |
| 20. 【演劇】その他  |              |
| 21. 【舞踊】洋舞（バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ジャズダンス、ストリートダンス、社交ダンスなど） |              |
| 22. 【舞踊】邦舞（日本舞踊など）   |              |
| 23. 【舞踊】民族舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコなど）                            |              |
| 24. 【舞踊】その他  |              |



25. 【映画】映画（アニメを除く）
26. 【メディア芸術】アニメーション
27. 【メディア芸術】漫画
28. 【メディア芸術】コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）
29. 【メディア芸術】その他
30. 【アイヌ・伝統芸能】アイヌ舞踊・口承
31. 【アイヌ・伝統芸能】雅楽
32. 【アイヌ・伝統芸能】能楽
33. 【アイヌ・伝統芸能】文楽
34. 【アイヌ・伝統芸能】歌舞伎
35. 【アイヌ・伝統芸能】組踊
36. 【アイヌ・伝統芸能】講談
37. 【アイヌ・伝統芸能】落語
38. 【アイヌ・伝統芸能】浪曲
39. 【アイヌ・伝統芸能】漫才・漫談
40. 【アイヌ・伝統芸能】その他
41. 【生活文化】茶道
42. 【生活文化】華道
43. 【生活文化】フラワーアレンジメント
44. 【生活文化】書道
45. 【生活文化】香道
46. 【生活文化】食文化
47. 【生活文化】国民娯楽（囲碁・将棋等）
48. 【生活文化】その他
49. 【デザイン・建築・ファッション】グラフィックデザイン・ウェブデザイン
50. 【デザイン・建築・ファッション】建築設計・インテリアデザイン
51. 【デザイン・建築・ファッション】プロダクトデザイン
52. 【デザイン・建築・ファッション】ファッション・服飾
53. 【デザイン・建築・ファッション】その他
54. その他（ ）
55. 特になし※**排他選択肢**、調査終了

※紙の調査票では表形式にする。

※**選択肢 55**を追加。

（古家）【文学】を【文芸】に修正し、下記のとおり整理。「戯曲」を削除し、「翻訳」を追加。

【現行】	【修正案】
1. 【文学】小説	【文芸】小説・戯曲・随筆等
2. 【文学】戯曲	【文芸】ノンフィクション・紀行・伝記等
3. 【文学】随筆・詩・俳句・短歌・連句	【文芸】詩歌（詩、短歌、俳句、川柳等）
4. 【文学】評論・批評	【文芸】評論・批評
5. 【文学】その他	【文芸】翻訳
	【文芸】その他

(木野・八條) 【音楽】を下記のとおり整理。

【現行】	【修正案】
6. 【音楽】クラシック音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽等）	【音楽】管弦打楽器による合奏/独奏、ピアノ/エレクトーン、声楽/合唱、指揮
7. 【音楽】ポピュラー音楽（ジャズ、HIPHOP、R&B、FUNK、SOUL、ポップス、ロック、歌謡曲等）	【音楽】演劇/ダンス等舞台音楽、映画/映像音楽、施設 BGM、CM/プロモーション音楽、ゲーム音楽
8. 【音楽】邦楽（琴、三味線、尺八、笛・声明等）	【音楽】ジャズ/即興、HIPHOP/RAP、R&B、FUNK&SOUL、レゲエ/スカ/
9. 【音楽】エレクトロニカ・電子音楽	ロックステディ、ブラジル/ラテン、ポ
10. 【音楽】民族音楽	ップス/歌謡曲
11. 【音楽】イーजीリスニング	【音楽】ロック/ハードロック、パンク、
12. 【音楽】その他	オルタナティブ、メタル、ハードコア、
	プログレ、フォーク、BLUES
	【音楽】エレクトロニカ/電子音楽、
	EDM、ハウス&テクノ、アンビエント
	/ドローン、DJ
	【音楽】民謡/童謡、演歌、箏/琴、三味
	線/三線、胡弓/琵琶類、尺八/笛類、太
	鼓類、声明、詩吟、謡（うたい）
	【音楽】民族音楽/楽器、伝統・伝承音
	楽/楽器、世界各地の音楽/楽器
	【音楽】その他（自由記載）

(山本)【美術】を【美術】と【工芸】に分け、下記のとおり整理。

「書」を追加。生活文化の「書道」と、芸術としての「書」は別モノのよう。

「人形」「漆芸」を追加。

【現行】	【修正案】
13. 【美術】造形（絵画、版画、彫刻） 14. 【美術】工芸（陶芸、書、染織、クラフト） 15. 【美術】写真・映像 16. 【美術】パフォーマンス（舞踊、演劇以外の身体芸術） 17. 【美術】複合芸術・アートプロジェクト 18. 【美術】その他	【美術】絵画・版画 【美術】彫刻・立体造形 【美術】インスタレーション 【美術】写真 【美術】映像 【美術】パフォーマンス 【美術】アートプロジェクト 【美術】書 【美術】その他 【工芸】陶芸 【工芸】ガラス 【工芸】木工 【工芸】金工 【工芸】染織 【工芸】宝飾 【工芸】人形 【工芸】漆芸 【工芸】その他
	※ もしこれ以上大分類が増えると困るのであれば、下記のとおり。 【美術】造形(絵画、版画、彫刻、立体造形など) 【美術】工芸(陶芸、ガラス、木工、金工、染織、宝飾など) 【美術】インスタレーション 【美術】写真 【美術】映像 【美術】パフォーマンス 【美術】アートプロジェクト 【美術】書      【美術】その他

(古家)例示に等を追加。「など」を「等」に統一。

- 13. 【美術】造形（絵画、版画、彫刻等）
- 14. 【美術】工芸（陶芸、書、染織、クラフト等）
- 19. 【演劇】演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカル、パントマイム、大道芸等）
- 21. 【舞踊】洋舞、23. 【舞踊】民族舞踊の例示「など」を「等」に修正

(森嶋) ダンスの括りについて下記のとおり整理。

【現行】	【修正案】
21. 【舞踊】洋舞（バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ジャズダンス、ストリートダンス、社交ダンスなど）	【舞踊】モダンダンス、クラシックバレエ 【舞踊】ストリートダンス、ジャズダンス
22. 【舞踊】邦舞（日本舞踊など）	【舞踊】社交ダンス
23. 【舞踊】民族舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコなど）	【舞踊】日本舞踊、日本の踊り 【舞踊】コンテンポラリー、舞踏、パフォーマンスアーツ
24. 【舞踊】その他	【舞踊】フラダンス、タヒチアンダンス、ベリーダンス、フラメンコ 【舞踊】その他の踊り（カポエイラ、アフリカダンス、ポールダンス、タップダンスなど記述してもらう）

(山本) 【メディア芸術】を下記のとおり整理。

【現行】	【修正案】
25. 【映画】映画（アニメを除く）	【メディア芸術】映画(劇映画、ドラマ、ドキュメンタリー、TV番組など)
26. 【メディア芸術】アニメーション	【メディア芸術】アニメーション
27. 【メディア芸術】漫画	【メディア芸術】漫画
28. 【メディア芸術】コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）	【メディア芸術】デジタル技術を活用した芸術表現
29. 【メディア芸術】その他	【メディア芸術】その他

(古家)【アイヌ・伝統芸能】を下記のとおり整理。

【現行】	【修正案】
30. 【アイヌ・伝統芸能】アイヌ舞踊・口承	【伝統芸能】口承
31. 【アイヌ・伝統芸能】雅楽	【伝統芸能】雅楽
32. 【アイヌ・伝統芸能】能楽	【伝統芸能】能楽
33. 【アイヌ・伝統芸能】文楽	【伝統芸能】文楽
34. 【アイヌ・伝統芸能】歌舞伎	【伝統芸能】歌舞伎
35. 【アイヌ・伝統芸能】組踊	【伝統芸能】組踊
36. 【アイヌ・伝統芸能】講談	【伝統芸能】講談
37. 【アイヌ・伝統芸能】落語	【伝統芸能】落語
38. 【アイヌ・伝統芸能】浪曲	【伝統芸能】浪曲
39. 【アイヌ・伝統芸能】漫才・漫談	【伝統芸能】漫才・漫談
40. 【アイヌ・伝統芸能】その他	【伝統芸能】その他
	【アイヌ民族文化】歌唱・舞踊
	【アイヌ民族文化】工芸
	【アイヌ民族文化】刺繍・服飾
	【アイヌ民族文化】その他

(古家)【生活文化】を下記のとおり整理。(道新文化センターのジャンルを参考)

【現行】	【修正案】
41. 【生活文化】茶道	【生活文化】絵画・造形
42. 【生活文化】華道	【生活文化】手芸・工芸・クラフト
43. 【生活文化】フラワーアレンジメント	【生活文化】音楽・歌唱・楽器
44. 【生活文化】書道	【生活文化】茶道
45. 【生活文化】香道	【生活文化】華道・フラワーアレンジメント
46. 【生活文化】食文化	【生活文化】書道・ペン字
47. 【生活文化】国民娯楽(囲碁・将棋等)	【生活文化】香道
48. 【生活文化】その他	【生活文化】食文化
	【生活文化】囲碁・将棋等
	【生活文化】その他

(山本) デザイン内に、イラストレーションの追加希望(映像デザインは不要?)

**Q1-1-2. 前問でお答えいただいた中で、現在、あなたが最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動をお答えください。<SA>**

※Q1-1-1で回答した選択肢を提示。

**Q1-2. あなたが関わっている文化芸術活動における主な役割を、優先順位の高い順に最大2つまでお答えください。<1~2A>**

1. 創作発表（音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作〔作曲、脚本、演出、振付〕、大道芸、写真家、舞踏家、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表）
2. 企画制作（プロデューサー、ディレクター、キュレーター、ギャラリスト〔企画〕、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作）
3. 技術提供（照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、通訳・翻訳、その他の技術提供）
4. 施設運営（ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、ギャラリー・古物商、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営）
5. 教育研究（教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究）
6. その他（                      ）
7. 上記の技能分野では2つに絞ることができない※排他選択肢

※紙調査票では（括弧内）は文字ポイントを小さくする。

**Q1-3. あなたは、現在関わっている文化芸術活動についてどのくらいの期間活動してきましたか。<SA>**

- |            |          |            |
|------------|----------|------------|
| 1. 5年未満    | 2. 5年～9年 | 3. 10年～19年 |
| 4. 20年～29年 | 5. 30年以上 | 6. わからない   |

**Q1-4. あなたの創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点（貸し稽古場、工房、スタジオ、練習室等）はどこにありますか。<MA>**

- |         |            |             |       |
|---------|------------|-------------|-------|
| 1. 札幌市内 | 2. 札幌以外の道内 | 3. 北海道以外の国内 | 4. 海外 |
|---------|------------|-------------|-------|

**Q1-9-1. 2019年にあなたが創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所をお答えください。<MA>**

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 自宅                | 2. 自宅以外で所有する場所  |
| 3. 有料の賃貸施設（公立）       | 4. 有料の賃貸施設（民間）  |
| 5. 無償で使える施設（公立）      | 5. 無償で使える施設（民間） |
| 6. その他（            ） | 7. なし※排他選択肢     |

**Q1-9-2. 2020年にあなたが創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究を行っていた場所をお答えください。<MA>**

※選択肢は Q1-9-1 と同様。

※紙調査票では Q1-9-1 と Q1-9-2 は統合。

**Q1-5. あなたが文化芸術活動の発表や作品の販売を行っている施設・スペース・機能はどこにありますか。<MA>**

1. 札幌市内      2. 札幌以外の道内      3. 北海道以外の国内      4. 海外  
5. インターネット上

**Q1-06-01. 2019年にあなたが文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。<MA>**

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 劇場・ホール・美術館・ギャラリー等の文化芸術施設 |                       |
| 2. ライブハウス・クラブ等              | 3. 映画館                |
| 4. 区民センター等の集会施設             | 5. 福祉施設・障がい者支援施設等     |
| 6. 病院等の医療施設                 | 7. 学校等の教育施設           |
| 8. 飲食店                      | 9. 商店街・商業施設           |
| 10. 宿泊施設                    | 11. 公園・野外             |
| 12. 雑誌等の紙媒体                 | 13. ラジオ・テレビ           |
| 14. 動画配信・オンライン              | 15. その他（            ） |
| 16. なし※排他選択肢                |                       |

**Q1-6-2. 2020年にあなたが文化芸術活動の発表や作品の販売を行った施設・スペースをお答えください。<MA>**

※選択肢は Q1-6-1 と同様。

※紙調査票では Q1-6-1、2 は統合可。



**Q1-7-1. 2019 年**にあなたが行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。<MA>

1. 演奏会・展覧会・上映会等の発表会
2. ワークショップ・アウトリーチ
3. レクチャー・講演会
4. その他（ ）
5. なし※排他選択肢

(佐久間)「2. ワークショップ・アウトリーチ」と「3. レクチャー・講演会」の違いは何か？例えば、演技やダンスのレッスン（教室）はどちらに分類か？

**Q1-8-1. 【Q1-7-1 回答により表示する選択肢を変更】2019 年**のそれぞれの発表等の回数をお答えください。<IN>

1. 演奏会・展覧会・上映会等の発表会（ ）回
2. ワークショップ・アウトリーチ（ ）回
3. レクチャー・講演会（ ）回
4. その他（ ）回

※紙調査票では Q1-7-1 と Q1-8-1 は統合。

※Q1-7-1 に「その他」(テキストボックスあり)があるので、システムの制約で Q1-8-1 と分けざるを得ない(以下同様)。

**Q1-7-2. 2020 年**にあなたが行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。<MA>

1. 演奏会・展覧会・上映会等の発表会
2. ワークショップ・アウトリーチ
3. レクチャー・講演会
4. その他（ ）
5. なし※排他選択肢

**Q1-8-2. 【Q1-7-2 回答により表示する選択肢を変更】2020 年**のそれぞれの発表等の回数をお答えください。<IN>

1. 演奏会・展覧会・上映会等の発表会（ ）回
2. ワークショップ・アウトリーチ（ ）回
3. レクチャー・講演会（ ）回
4. その他（ ）回

※紙調査票では Q1-7-2 と Q1-8-2 は統合。

**Q1-8.1. 2020 年**にあなたはオンラインでの発表を行いましたか。行った場合はその回数をお答えください。<SA→IN>

1. 行った（ ）回
2. 行っていない

※設問文・選択肢を修正しました。

**Q1-10. 1週間当たり、あなたが文化芸術活動に費やした時間を、2019年と2020年についてお答えください。〈IN〉**

- (1) 2019年 [約 (        ) 時間/週]
- (2) 2020年 [約 (        ) 時間/週]

**Q1-11. あなたは文化芸術団体（法人、趣味のサークル、グループ等）に所属・参加していますか。所属・参加している場合、差し支えなければ、あなたが所属している文化芸術団体名をお答えください。〈SA・FA〉**

1. 所属・参加している→団体名 (                    )
2. 所属・参加している団体はない

※設問文を修正しました。

※Q1-11は12/28 関先生資料にあった下記設問に置き換えたほうが良いでしょうか？（確認漏れでした）

**追加 Q1-4. あなたが所属している文化芸術団体（法人、趣味のサークル、グループ等）の種類を教えてください。〈MA〉**

1. 専門職能の維持・向上、文化芸術の振興を目的とする団体
2. 劇団、楽団、舞踊団、同人会など文化芸術創造活動をすすめる団体
3. 個人の仕事を紹介・仲介・プロモートするプロダクション・事務所等
4. どこにも所属せずに個人で活動している

※設問文・選択肢を修正しました。

**追加 Q1-4-1. 【追加 Q1-4 で 1、2、3 回答者のみお答えください】 差し支えなければ、あなたが所属している文化芸術団体名をお答えください。〈FA〉**

(                    )

**文化芸術活動による収入等についてお聞きします。**

**Q2-1.1. 文化芸術活動による収入源の状況と、関わり方をお答えください。＜SA＞**

1. 文化芸術活動が生活の収入源のほとんどすべてである（専業）
2. 文化芸術活動は生活の収入源の一部である（兼業）
3. 文化芸術活動を生活の収入源としていない
4. 文化芸術活動には愛好者・ボランティア等としてかかわっている
5. その他（            ）

（佐久間）収入源に重きを置いた設問であれば、「3. 文化芸術活動を収入源にするつもりはあるが、実際のところそうなっていない」「4. そもそも文化芸術活動を収入源にするつもりはない」といった表記の方が簡潔でわかりやすい。

**Q2-1.2 【Q2-1.1 で1、2回答者のみお答えください】文化芸術活動の主な雇用形態をお答えください。＜SA＞**

1. 個人事業主・フリーランス
2. 正社員・正職員
3. 非正規の常用雇用者（契約社員、嘱託、非常勤、パート、長期アルバイトなど）
4. 臨時雇用者（短期アルバイト、日雇など）
5. その他（            ）

**Q2-1.3 【Q2-1.1 で2、3、4回答者のみお答えください】文化芸術活動以外のお仕事の主な雇用形態をお答えください。＜SA＞**

1. 個人事業主・フリーランス
2. 正社員・正職員
3. 非正規の常用雇用者（契約社員、嘱託、非常勤、パート、長期アルバイトなど）
4. 臨時雇用者（短期アルバイト、日雇など）
5. 学生
6. 無職
7. その他（            ）

**Q2-2-1. 2019 年のあなた個人の年間所得をお答えください**（※給与所得者は給与・賞与の額〔収入〕、事業主は所得額〔必要経費を差し引いた額〕、年金受給者は年金額をお答えください。上記の複数の所得がある場合や、株・不動産等による財産所得がある場合はこれらを合算した額をお答えください）。<SA>

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 100 万円未満     | 2. 100～200 万円未満      |
| 3. 200～300 万円未満 | 4. 300～400 万円未満      |
| 5. 400～500 万円未満 | 6. 500～600 万円未満      |
| 7. 600～700 万円未満 | 8. 700～800 万円未満      |
| 9. 800～900 万円未満 | 10. 1,000～1,500 万円未満 |
| 11. 1,500 万円以上  |                      |

**Q2-2-2. 2020 年のあなた個人の年間所得をお答えください。**<SA>

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 100 万円未満     | 2. 100～200 万円未満      |
| 3. 200～300 万円未満 | 4. 300～400 万円未満      |
| 5. 400～500 万円未満 | 6. 500～600 万円未満      |
| 7. 600～700 万円未満 | 8. 700～800 万円未満      |
| 9. 800～900 万円未満 | 10. 1,000～1,500 万円未満 |
| 11. 1,500 万円以上  |                      |

※紙調査票では Q2-2-1 と Q2-2-2 は統合。

**Q2-3. 【Q2-1.1 で 2、3、4 回答者のみお答えください】あなた個人の 2019 年と 2020 年の年間所得のうち、文化芸術活動による所得の額をお答えください。ない場合は 0（ゼロ）を記入してください。**<IN>

- (1) 2019 年 [約 (       ) 万円/年]  
 (2) 2020 年 [約 (       ) 万円/年]

**Q2-4. あなたが 2019 年と 2020 年に文化芸術活動のために支出した金額をお答えください。ない場合は 0（ゼロ）を記入してください。**<IN>

- (1) 2019 年 [約 (       ) 万円/年]  
 (2) 2020 年 [約 (       ) 万円/年]

**Q2-5. あなたが文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。<MA>**

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. チケット収入や作品の売り上げ    | 2. 公的・民間の助成金・補助金 |
| 3. 企業協賛金             | 4. 所属会社・団体の給与    |
| 5. 講師料               | 6. 自己負担          |
| 7. その他（            ） | 8. なし※排他選択肢      |

**Q2-8-1. 2019年度に個人として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金はありますか。<SA>**

1. ある→申請件数（        ）件
2. ない

**Q2-8.1-1. 【Q2-8-1で1回答者のみお答えください】2019年度に申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。<IN>**

（        ）件

※紙調査票では Q2-8-1、Q2-8.1-1 は統合。

**Q2-8-2. 2020年度に個人として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金はありますか。<MA>**

1. ある（文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」）  
→申請件数（        ）件
2. ある（文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」以外）  
→申請件数（        ）件
3. ない

**Q2-7.1. 【Q2-8-2で1回答者のみお答えください】申請した「文化芸術活動の継続支援事業」の種別（補助の形態）と、申請件数をお答えください。<MA>**

1. A-①（標準的な取組を行うフリーランス等向け〔上限20万円〕）  
→申請件数（        ）件
2. A-②（より積極的な取組を行うフリーランス等向け〔上限150万円〕）  
→申請件数（        ）件
3. B（小規模団体向け〔上限150万円〕）  
→申請件数（        ）件
4. 共同申請（小規模団体・個人事業者向け〔上限1,500万円〈10者の場合〉〕）  
→申請件数（        ）件
5. どれかわからない※排他選択肢

Q2-8.1-2. 【Q2-8-2 で2回答者のみお答えください】2020年度に申請した「文化芸術活動の継続支援事業」以外の助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。〈IN〉

( ) 件

(古家) 助成金・補助金の種別は不要でしょうか。入れるとしたら「国・地方自治体とそれに準ずる機関」「民間企業とそれに準ずる機関」など？

※紙調査票では Q2-8-2、Q2-8.1-2 は統合。

Q2-8.2. 【2019年度と2020年度に、個人として助成金・補助金を申請しなかった方にお聞きします】助成金・補助金を申請しなかった理由はなんですか(※申請した方は「8. 特に理由はない／申請した」を選択してください)。〈MA〉

1. 情報を知らなかった
  2. 自分の活動に適した助成金・補助金がなかった
  3. 申請の手続きが難しかった・面倒だった
  4. 忙しくて申請する時間がなかった
  5. 報告する際の提出資料が多かった
  6. 助成金に興味がなかった
  7. その他( )
  8. 特に理由はない／申請した※排他選択肢
- (古家)「申請しなかった方」に聞いているので、8の選択肢に「申請した」は不要では？(その場合、質問文の※括弧書き削除)

Q2-6. 文化芸術活動の資金調達のため、クラウドファンディングに取り組んだことはありますか。〈SA・マトリクス〉

(1) 2019年

1. ある
2. 検討したが行ったことはない
3. ない

(2) 2020年

1. ある
2. 検討したが行ったことはない
3. ない

(佐久間)「2」と「3」の区別をわかりやすくするため、「2. 行ったことはないが、検討したことはある」「3. 行ったことがない(検討もしたことがない)」といった表記の方が良い。

(古家)「2. 検討したが行ってない」「3. 検討したことはない」に修正

**文化芸術活動に関する課題やニーズについてお聞きします。**

**Q3-1～3. 文化芸術活動において不足している・課題だと感じていることをお答えください。<MA>**

1. 【場・機会】制作や練習の場所
2. 【場・機会】発表の場・機会
3. 【場・機会】学び（専門性向上、技術向上など）の場・機会
4. 【場・機会】交流・出会いの場・機会
5. 【場・機会】自己PRの場・機会
6. 【場・機会】相談の場・機会
7. 【人材】マネジメントする人
8. 【人材】相談相手
9. 【人材】賛同者・理解者
10. 【人材】経済的支援者・協力者
11. 【人材】スタッフ・一緒に活動する人
12. 【人材】後継者
13. 【資金】制作や練習の資金
14. 【資金】発表の資金
15. 【資金】PRや広報の資金
16. 【資金】日常的な活動経費
17. 【資金】リサーチ・公演や制作方法の検討・準備の経費
18. 【資金】スキルアップ（研修・交流含む）の経費
19. 【資金】設備・機材等の投資資金
20. その他（ ）
21. 困っていることはない※**排他選択肢**

**(森嶋) 【人材】プロデュースする人、【場・機会】仕事の間・機会**

**Q3-4. 普段、どのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。<MA>**

1. ホームページ・ブログ
2. メールマガジン
3. Facebook
4. Twitter
5. Instagram
6. LINE
7. TikTok
8. YouTube
9. テレビ
10. ラジオ
11. 新聞
12. ポスター・チラシ
13. フリーペーパー
14. その他（ ）
15. 特になし※**排他選択肢**

**(文化部) 文化芸術活動の現状把握の設問のため、Q1（Q1-10の前など）に移行した方が良いのではないか。**

**(木野) 12を「ポスター・チラシ・DM配布」に修正。**

**13を「雑誌・フリーペーパー」に修正。**

**(古家) 「7 TikTok」は必要か？**



Q3-5. 札幌市から文化芸術活動関係者に対して情報発信をする場合、どのような媒体を活用するのが効果的だと思いますか。〈MA〉

- |                |                       |              |
|----------------|-----------------------|--------------|
| 1. 広報さっぽろ      | 2. ホームページ             | 3. Facebook  |
| 4. Twitter     | 5. Instagram          | 6. LINE      |
| 7. TikTok      | 8. YouTube            | 9. テレビ       |
| 10. ラジオ        | 11. 新聞                | 12. ポスター・チラシ |
| 13. フリーペーパー    | 14. その他（            ） |              |
| 15. 特になし※排他選択肢 |                       |              |

(木野) 市からの情報とはどんな情報？そのような情報出すことがあるのか？

「札幌市\*が\*幅広い芸術活動\*を\*一般市民\*へ\*発信する場合」の意味か？

2を「市が運営するホームページ」に修正

12を「市の施設等へのポスター・チラシ設置」に修正

13を「市が発行するフリーペーパー等への掲載」に修正

(佐久間) 市からの情報とは、例えば助成金や補助事業などか。具体例があるとわかりやすい。

(古家) 「7 TikTok」は必要か？

~~Q3-6. 札幌市から文化芸術活動関係者に対して情報発信をする場合、どういった場所・施設で発信するのが効果的だと思いますか。〈MA〉~~

~~1. ★★★~~

~~99. 特になし※排他選択肢~~

~~※選択肢は文化振興課にて検討中。~~

(文化部) 削除します。

**文化芸術活動に対する意識等についてお聞きします。**

Q4-1. あなたが文化芸術活動を続けている・行っている理由はなんですか。〈MA〉

1. 趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出
2. アイデンティティの形成や自己肯定感の向上
3. 自己表現及びコミュニケーション能力の拡大
4. 人との交流、相互理解や関係を築く
5. 収入や就労など、経済的な活動につながる
6. 日常生活に新たな視点がもたらされる
7. その他（            ）
8. 特に理由はない※排他選択肢

**Q4-2. あなたは、文化芸術が社会にもたらす効果として、どのようなことを期待しますか。〈MA〉**

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 地域社会・経済の活性化        | 2. 多様な価値観の形成          |
| 3. 人々が生きる楽しみを見出せる     |                       |
| 4. 地域への愛着を育み、コミュニティ再生 | 5. 地域のイメージの向上         |
| 6. 観光客の増加             | 7. 人々の創造性の向上          |
| 8. 子どもの豊かな心の育み        |                       |
| 9. 高齢者の社会参加・交流機会の拡大   |                       |
| 10. 障がい者の活躍の場の創出      | 11. 国際交流の促進           |
| 12. 健康の増進             | 13. その他（            ） |
| 14. 特になし・わからない※排他選択肢  |                       |

**Q4-3-1. あなたが行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。〈MA〉**

※Q1-1-1と同じ選択肢。

55. 特になし※排他選択肢

**Q4-3-2. あなたが行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。〈MA〉**

※Q1-1-1と同じ選択肢。

55. 特になし※排他選択肢

※紙調査票では Q4-3-1、Q4-3-2 は統合。

Q4-4-1. あなたが行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。〈MA〉

1. 観光
2. 国際交流
3. 多文化共生（在留外国人との交流等）
4. 教育
5. 経済・産業
6. 障がい福祉
7. スポーツ・健康増進
8. 子育て
9. 高齢者福祉
10. まちづくり・地域の活性化
11. 環境
12. IT
13. 農業
14. 林業
15. 漁業
16. その他（            ）
17. 特になし ※排他選択肢

（木野）1を「観光・インバウンド関連」に修正

3を「多文化共生・多様性」に修正（在留外国人との交流等は削除）

4を「教育・人材育成」に修正

4\*「医療」、4\*\*「社会的包摂・自立支援・差別」を追加

10を「まちづくり・地方創生・地域の活性化」に修正

11を「環境・SDGs」に修正

12を「IT関連」に修正

12\*「ゲーム関連」を追加

15を「漁業」から「水産業」に修正

15\*「建築」、15\*\*「食」、15\*\*\*「報道・言論」を追加

※順番並び替え

10「まちづくり・地方創生・地域の活性化」→1「観光・インバウンド関連」→2「国際交流」→3「多文化共生・多様性」→4「教育・人材育成」→4\*「医療」→4\*\*「社会的包摂・自立支援・差別」→8「子育て」→6「障がい福祉」→9「高齢者福祉」→5「経済・産業」→7「スポーツ・健康増進」→11「環境・SDGs」→12「IT関連」→12\*「ゲーム関連」→13「農業」→14「林業」→15「水産業」→15\*「建築」→15\*\*「食」→15\*\*\*「報道・言論」→16「その他（            ）」→17「特になし」

（古家）4を「教育・人材育成」に修正

5を「障がい者福祉」に修正

Q4-4-2. あなたが行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」は何ですか。〈MA〉

※Q4-4-1と同じ選択肢。

※紙調査票ではQ4-4-1、Q4-4-2は統合。

Q4-4.1. 【「今後、『他の文化芸術分野』『社会分野』と接点・関わりを持ちたい」と回答した方にお聞きします】接点・関わりを持ってやってみたいことはどのようなことですか（※「特に接点・関わりを持ちたいと思わない」方は未記入で結構です）。<FA>  
 ( )

Q4-5. 異なる文化芸術分野間の連携や、文化芸術と社会分野の連携を推進していくために、どのような課題があると思いますか。<MA>

1. コーディネーターがない
2. 連携のための助成金・補助金がない
3. 異分野間をつなぐ仕組みがない
4. 他分野の情報がない
5. その他 ( )
6. その他 ( )
7. 文化芸術分野間、文化芸術と社会分野の連携が必要とは思わない※排他選択肢（集計時に排他処理）
8. 特に課題はない※排他選択肢（システムで排他処理）

(木野) 質問文を「自分にはどのような課題があると思いますか。」に修正。

1を「コーディネーター（繋ぐ人、導く人など）がない」に修正。

4を「他分野の情報や知り合いがない」に修正

6に「連携のためのアイデアがない」、7に「可能性を感じるが行動の仕方がわからない」を追加。（残り番号送り）

Q4-6. 札幌市の文化芸術政策に求めること・期待すること、文化芸術の利用や、助成金・補助金に関する課題等があればお書きください。<FA>  
 ( )

(文化部) Q3とQ4を合体し、『文化芸術活動に対する意識、課題やニーズについてお聞きする』としてはいかがか。（設問順：意識 Q4-1→Q4-5→課題・ニーズ Q3-1～3、Q3-4→Q4-6）

これでアンケート調査は終了です。ご協力、ありがとうございました。

令和 2 年度札幌市文化芸術活動実態調査  
ウェブアンケートフォーム版団体・事業者向け調査票案

<凡例等>

- ・ Q の番号は設問整理表に合わせています（最終的には単純な連番になります）。
- ・ **※赤字**は調査票設計・検討における留意点・要確認事項です。
- ・ **灰色網掛け**は回答条件設定。ウェブアンケートフォームでは表示されない部分となります。
- ・ **青色網掛け**は、ウェブアンケートフォームでも、紙の調査票でも表記する部分です。
- ・ <SA> 単一回答、<MA> 複数回答、<1~2A> 2 つまで回答可、<IN> 数値回答、<FA> 自由記述回答。

※以下からウェブアンケートフォームの原稿（テキスト）です。

## 令和 2 年度札幌市文化芸術活動実態調査（団体・事業者向け）

- ・ この調査票は団体・事業者向けです。団体・事業者の代表者またはそれに代わる方にてご回答願います。個人の方向けの調査票は[こちら★リンク★](#)です。
- ・ ご回答は 1 団体 1 回にてお願いします。
- ・ ご回答必須の設問はありませんので、回答したくない設問は無回答でも結構です。ただ、札幌文化芸術未来会議・札幌市では、いずれの設問についても、札幌市における文化芸術活動振興策を検討する基礎データを得るために大切と考えております。極力ご回答・ご協力いただければ幸いです。
- ・ 調査は無記名式で、調査結果は統計的に処理するため、個人・団体等が特定される形で公開されることはございません。

**まず、団体の基本情報をお聞きします。**

**Q0-団体用 0. 貴団体の形態をお答えください。<SA>**

1. 個人事業所
2. 株式会社・特例有限会社・相互会社
3. 合名会社・合資会社
4. 合同会社 公益財団・社団法人
5. 一般財団・社団法人
6. 特定非営利活動法人
7. 学校法人
8. 宗教法人
9. 社会福祉法人・医療法人
10. 法人でない団体（保存会、組合、協議会、任意団体）

11. その他（ ）

**Q0-団体用 1. 貴団体の事務所がある区をお答えください。事務所がない場合は団体代表者のお住まい等がある区をお答えください。<SA>**

1. 中央区            2. 北区            3. 東区            4. 白石区        5. 厚別区  
6. 豊平区            7. 清田区        8. 南区            9. 西区            10. 手稲区  
11. 札幌市外（ ）

**Q0-団体用 2. 団体を構成する方の種別とそれぞれの人数を教えてください。<MA・IN>**

1. 個人事業主（ ）人  
2. 個人事業主の家族等で無給の人（家族でも賃金・給与を受けている人は下記いずれかとしてください）（ ）人  
3. 正社員・正職員（所定労働時間で働いている人）（ ）人  
4. 非正規社員・非正規職員（契約社員、嘱託、非常勤、パート等）（ ）人  
5. 臨時雇用者（1か月未満の雇用者している人、日雇い等）（ ）人  
6. ボランティア・無給スタッフ（ ）人  
7. 個人会員（ ）人

※設問文・選択肢を修正しています。

（古家）5. 臨時雇用者の例示の「1か月未満の雇用者している人」を「1か月未満の雇用者」に修正

**Q0-名称. 差し支えなければ、貴団体の名称を教えてください（※札幌市内にどのような文化芸術団体があるか調べさせていただくためにお聞きしています。貴団体が特定される形でご回答内容を公開したり、ご回答内容によって貴団体が不利益を被ることは一切ございません）。<FA>**

（ ）

**Q0-メール. 差し支えなければ、貴団体への連絡先メールアドレスをお教え下さい。本調査報告書の公開のお知らせ、その他札幌市市民文化局文化部からのご案内を差し上げるためにお聞きしています（※メールアドレスを他の用途に使用したり、他の札幌市部局に提供したりすることは一切ございません）。<FA>**

（ ）

**文化芸術分野の活動状況や制作環境についてお聞きします。**

Q1-1. 現在、貴団体が最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動を 3 つまでお答えください（※次問以降ではここでご回答いただいた「文化芸術活動」についてお答えください）。<1~3A>

1. 【文学】小説
2. 【文学】戯曲
3. 【文学】随筆・詩・俳句・短歌・連句
4. 【文学】評論・批評
5. 【文学】その他
6. 【音楽】クラシック音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽等）
7. 【音楽】ポピュラー音楽（ジャズ、HIPHOP、R&B、FUNK、SOUL、ポップス、ロック、歌謡曲等）
8. 【音楽】邦楽（琴、三味線、尺八、笛・声明等）
9. 【音楽】エレクトロニカ・電子音楽
10. 【音楽】民族音楽
11. 【音楽】イージーリスニング
12. 【音楽】その他
13. 【美術】造形（絵画、版画、彫刻）
14. 【美術】工芸（陶芸、書、染織、クラフト）
15. 【美術】写真・映像
16. 【美術】パフォーマンス（舞踊、演劇以外の身体芸術）
17. 【美術】複合芸術・アートプロジェクト
18. 【美術】その他
19. 【演劇】演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカル、パントマイム、大道芸）
20. 【演劇】その他
21. 【舞踊】洋舞（バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ジャズダンス、ストリートダンス、社交ダンスなど）
22. 【舞踊】邦舞（日本舞踊など）
23. 【舞踊】民族舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコなど）
24. 【舞踊】その他
25. 【映画】映画（アニメを除く）
26. 【メディア芸術】アニメーション
27. 【メディア芸術】漫画
28. 【メディア芸術】コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）
29. 【メディア芸術】その他
30. 【アイヌ・伝統芸能】アイヌ舞踊・口承
31. 【アイヌ・伝統芸能】雅楽
32. 【アイヌ・伝統芸能】能楽
33. 【アイヌ・伝統芸能】文楽
34. 【アイヌ・伝統芸能】歌舞伎
35. 【アイヌ・伝統芸能】組踊
36. 【アイヌ・伝統芸能】講談
37. 【アイヌ・伝統芸能】落語
38. 【アイヌ・伝統芸能】浪曲



39. 【アイヌ・伝統芸能】漫才・漫談  
 40. 【アイヌ・伝統芸能】その他  
 41. 【生活文化】茶道  
 42. 【生活文化】華道  
 43. 【生活文化】フラワーアレンジメント  
 44. 【生活文化】書道  
 45. 【生活文化】香道  
 46. 【生活文化】食文化  
 47. 【生活文化】国民娯楽（囲碁・将棋等）  
 48. 【生活文化】その他  
 49. 【デザイン・建築・ファッション】グラフィックデザイン・ウェブデザイン  
 50. 【デザイン・建築・ファッション】建築設計・インテリアデザイン  
 51. 【デザイン・建築・ファッション】プロダクトデザイン  
 52. 【デザイン・建築・ファッション】ファッション・服飾  
 53. 【デザイン・建築・ファッション】その他  
 54. その他（ ）  
 55. 複数の分野を横断（上記の表現分野・携わる分野では一つに絞ることができない）※排他選択肢

※ 個人用選択肢と一致

**Q1-1-2. 前問でお答えいただいた中で、現在、貴団体が最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動をお答えください。〈SA〉**

※Q1-1-1 で回答した選択肢を提示。

※Q1-1-1～Q1-1-2 の流れを個人向けと同様にしました。

**Q1-2. 貴団体の文化芸術活動における主な役割を、優先順位の高い順に最大 2 つまでお答えください。〈1～2A〉**

1. 創作発表（音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作〔作曲、脚本、演出、振付〕、大道芸、写真家、舞踏家、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表）
2. 企画制作（プロデューサー、ディレクター、キュレーター、ギャラリスト〔企画〕、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作）
3. 技術提供（照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、通訳・翻訳、その他の技術提供）
4. 施設運営（ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、ギャラリー・古物商、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営）
5. 教育研究（教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専

任教員、批評家・研究者、その他の教育研究)

6. その他 ( )

7. 上記の技能分野では2つに絞ることができない※排他選択肢

※紙調査票では(括弧内)は文字ポイントを小さくする。

**Q1-3. 貴団体は、現在関わっている文化芸術活動についてどのくらいの期間活動してきましたか。<SA>**

1. 5年未満      2. 5年～9年      3. 10年～19年  
4. 20年～29年   5. 30年以上      6. わからない

**Q1-4. 貴団体の創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点(貸し稽古場、工房、スタジオ、練習室等)はどこにありますか。<MA>**

1. 札幌市内      2. 札幌以外の道内      3. 北海道以外の国内      4. 海外

**Q1-9-1. 2019年に、貴団体が文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所をお答えください。<MA>**

1. 団体が所有する事務所・工房・スペース  
2. 団体が賃貸する事務所・工房・スペース  
3. 代表者や主要メンバーの自宅  
4. 有料の時間貸しの賃貸施設(公立)      5. 有料の時間貸しの賃貸施設(民間)  
6. 無償で使える施設(公立)      7. 無償で使える施設(民間)  
8. その他( )      9. なし※排他選択肢

(佐久間) 2「賃貸する」を「賃借する」に修正。

**Q1-9-2. 2020年に貴団体が文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所をお答えください。<MA>**

※選択肢はQ1-9-1と同様。

※紙調査票ではQ1-9-1とQ1-9-2は統合。

**Q1-5. 貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行っている施設・スペース・機能はどこにありますか。<MA>**

1. 札幌市内      2. 札幌以外の道内      3. 北海道以外の国内      4. 海外  
5. インターネット上

**Q1-06-01. 2019年に貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。<MA>**

1. 劇場・ホール・美術館・ギャラリー等の文化芸術施設
2. ライブハウス・クラブ等
3. 映画館
4. 区民センター等の集会施設
5. 福祉施設・障がい者支援施設等
6. 病院等の医療施設
7. 学校等の教育施設
8. 飲食店
9. 商店街・商業施設
10. 宿泊施設
11. 公園・野外
12. 雑誌等の紙媒体
13. ラジオ・テレビ
14. 動画配信・オンライン
15. その他（ ）
16. なし※排他選択肢

(古家) Q1-9-1に「団体が所有する事務所・工房・スペース」「団体が賃貸する事務所・工房・スペース」の選択肢があるため、これに相当する選択肢「団体が所有・賃借する事務所・工房・スペース」を設けてはいかがか。

**Q1-6-2. 2020年に貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行った施設・スペースをお答えください。<MA>**

※選択肢はQ1-6-1と同様。

※紙調査票ではQ1-6-1、2は統合可。

**Q1-7-1. 2019年に貴団体が行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。<MA>**

1. 演奏会・展覧会・上映会等の発表会
2. ワークショップ・アウトリーチ
3. レクチャー・講演会
4. その他（ ）
5. なし※排他選択肢

(佐久間)「2. ワークショップ・アウトリーチ」と「3. レクチャー・講演会」の違いは何か?例えば、演技やダンスのレッスン(教室)はどちらに分類か?

**Q1-8-1. 【Q1-7-1回答により表示する選択肢を変更】2019年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。<IN>**

1. 演奏会・展覧会・上映会等の発表会（ ）回
2. ワークショップ・アウトリーチ（ ）回
3. レクチャー・講演会（ ）回
4. その他（ ）回

※紙調査票ではQ1-7-1とQ1-8-1は統合(次問も同様)。

※Q1-7-1に「その他」(テキストボックスあり)があるので、Q1-8-1と分けざるを得ない(次問も同様)。

Q1-7-2. 2020 年に貴団体が行った文化芸術活動の発表形態をお答えください。<MA>

1. 演奏会・展覧会・上映会等の発表会
2. ワークショップ・アウトリーチ
3. レクチャー・講演会
4. その他（ ）
5. なし※排他選択肢

Q1-8-2. **【Q1-8-1 回答により表示する選択肢を変更】**2020 年のそれぞれの発表等の回数をお答えください。<IN>

1. 演奏会・展覧会・上映会等の発表会（ ）回
2. ワークショップ・アウトリーチ（ ）回
3. レクチャー・講演会（ ）回
4. その他（ ）回

Q1-8.1. 2020 年に貴団体はオンラインでの発表を行いましたか。行った場合はその回数をお答えください。<SA→IN>

1. 行った（ ）回
2. 行っていない

※設問文・選択肢を修正しました。

Q1-10. 1 週間当たり、貴団体が文化芸術活動に関わった時間を、2019 年と 2020 年についてお答えください。

- (1) 2019 年 [約（ ）時間/週]
- (2) 2020 年 [約（ ）時間/週]

(古家) 必要な設問か？

**文化芸術活動による収入等についてお聞きします。**

Q2-3. 文化芸術活動による貴団体の収入・売上の額をお答えください。ない場合は 0 (ゼロ) を記入してください。<IN>

- (1) 2019 年 [約（ ）万円/年]
- (2) 2020 年 [約（ ）万円/年]

Q2-4. 貴団体が 2019 年と 2020 年に文化芸術活動のために支出した金額 (経費) をお答えください。ない場合は 0 (ゼロ) を記入してください。<IN>

- (1) 2019 年 [約（ ）万円/年]
- (2) 2020 年 [約（ ）万円/年]

**Q2-5. 貴団体が文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。<MA>**

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. チケット収入や作品の売り上げ    | 2. 公的・民間の助成金・補助金   |
| 3. 企業協賛金             | 4. 構成員からの会費        |
| 5. 講師料               | 6. 代表者や主要メンバーの自己負担 |
| 7. その他（            ） | 8. なし※排他選択肢        |

**Q2-8-1. 2019 年度に、団体として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金がありますか。<SA>**

1. ある [申請件数（        ）件]            2. ない

**Q2-8.1-1. 【Q2-8-1 で1回答者のみお答えください】 2019 年度に申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。<IN>**

（        ）件

**Q2-8-2. 2020 年度に、団体として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金がありますか。<SA>**

1. ある [申請件数（        ）件]            2. ない

**（古家）助成金・補助金の種別は不要でしょうか。入れるとしたら「国・地方自治体とそれに準ずる機関」「民間企業とそれに準ずる機関」など？**

**Q2-8.1-2. 【Q2-8-2 で1回答者のみお答えください】 2020 年度に申請した助成金・補助金のうち、採択されたのは何件ですか。<IN>（        ）件**

※紙調査票では Q2-8-1～2-9-2 は統合。

**Q2-8.2. 【2019 年度、2020 年度に、団体として助成金・補助金を申請しなかった方にお聞きします】 助成金・補助金を申請しなかった理由はなんですか（※申請した方は「8. 特に理由はない／申請した」を選択してください）。<MA>**

1. 情報を知らなかった
2. 団体の活動に適した助成金・補助金がなかった
3. 申請の手続きが難しかった・面倒だった
4. 忙しくて申請する時間がなかった
5. 報告する際の提出資料が多かった
6. 助成金に興味がなかった
7. その他（            ）
8. 特に理由はない／申請した※排他選択肢

(古家)「申請しなかった方」に聞いているので、8の選択肢に「申請した」は不要では？(その場合、質問文の※括弧書き削除)

Q2-6. 貴団体は、文化芸術活動の資金調達のため、クラウドファンディングに取り組んだことはありますか。<SA・マトリクス>

(1) 2019年

1. ある                      2. 検討したが行ったことはない                      3. ない

(2) 2020年

1. ある                      2. 検討したが行ったことはない                      3. ない

(佐久間)「2」と「3」の区別をわかりやすくするため、「2. 行ったことはないが、検討したことはある」「3. 行ったことがない(検討もしたことがない)」といった表記の方が良い。

(古家)「2. 検討したが行っていない」「3. 検討したことはない」に修正

**文化芸術活動に関する課題やニーズについてお聞きします。**

Q3-1~3. 貴団体が文化芸術活動を行うに当たって、不足している・課題だと感じていることをお答えください。<MA>

1. 【場・機会】制作や練習の場所
2. 【場・機会】発表の場・機会
3. 【場・機会】学び(専門性向上、技術向上など)の場・機会
4. 【場・機会】交流・出会いの場・機会
5. 【場・機会】団体PRの場・機会
6. 【場・機会】相談の場・機会
7. 【人材】マネジメントする人
8. 【人材】相談相手
9. 【人材】賛同者・理解者
10. 【人材】経済的支援者・協力者
11. 【人材】スタッフ
12. 【人材】後継者
13. 【資金】制作や練習の資金
14. 【資金】発表の資金
15. 【資金】PRや広報の資金
16. 【資金】日常的な活動経費
17. 【資金】リサーチ・公演や制作方法の検討・準備の経費
18. 【資金】スキルアップ(研修・交流含む)の経費
19. 【資金】設備・機材等の投資資金
20. その他( )
21. 困っていることはない※排他選択肢

Q3-4. 普段、貴団体はどのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。<MA>

- |                |              |              |
|----------------|--------------|--------------|
| 1. ホームページ・ブログ  | 2. メールマガジン   | 3. Facebook  |
| 4. Twitter     | 5. Instagram | 6. LINE      |
| 7. TikTok      | 8. YouTube   | 9. テレビ       |
| 10. ラジオ        | 11. 新聞       | 12. ポスター・チラシ |
| 13. フリーペーパー    | 14. その他 ( )  |              |
| 15. 特になし※排他選択肢 |              |              |

※ 個人用の選択肢と一致

(文化部) 文化芸術活動の現状把握の設問のため、Q1 (Q1-10 の前など) に移行した方が良いのではないかと。

Q3-5. 札幌市から文化芸術活動団体に対して情報発信をする場合、どのような媒体を活用するのが効果的だと思いますか。〈MA〉

- |                |              |              |
|----------------|--------------|--------------|
| 1. 広報さっぽろ      | 2. ホームページ    | 3. Facebook  |
| 4. Twitter     | 5. Instagram | 6. LINE      |
| 7. TikTok      | 8. YouTube   | 9. テレビ       |
| 10. ラジオ        | 11. 新聞       | 12. ポスター・チラシ |
| 13. フリーペーパー    | 14. その他 ( )  |              |
| 15. 特になし※排他選択肢 |              |              |

※ 個人用の設問、選択肢と一致

~~Q3-6. 札幌市から文化芸術活動団体に対して情報発信をする場合、こういった場所・施設で発信するのが効果的だと思いますか。〈MA〉~~

~~1. ★★★~~

~~99. 特になし※排他選択肢~~

~~※個人向けと同様に、この設問を追加しました。~~

~~※選択肢は文化振興課にて検討中。~~

(文化部) 削除します。

**文化芸術活動に対する意識等についてお聞きします。**

Q4-1. 貴団体が文化芸術活動を続けている・行っている理由はなんですか。〈MA〉

1. 趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出
2. アイデンティティの形成や自己肯定感の向上
3. 自己表現及びコミュニケーション能力の拡大
4. 人との交流、相互理解や関係を築く



5. 経済活動として取り組んでいる
6. 日常生活に新たな視点をもたらされる
7. その他（ ）
8. 特に理由はない※排他選択肢

**Q4-2. 文化芸術が社会にもたらす効果として、どのようなことを期待しますか。<MA>**

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| 1. 地域社会・経済の活性化        | 2. 多様な価値観の形成  |
| 3. 人々が生きる楽しみを見出せる     |               |
| 4. 地域への愛着を育み、コミュニティ再生 | 5. 地域のイメージの向上 |
| 6. 観光客の増加             | 7. 人々の創造性の向上  |
| 8. 子どもの豊かな心の育み        |               |
| 9. 高齢者の社会参加・交流機会の拡大   |               |
| 10. 障がい者の活躍の場の創出      | 11. 国際交流の促進   |
| 12. 健康の増進             | 13. その他（ ）    |
| 14. 特にない・わからない※排他選択肢  |               |

**Q4-3-1. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。<MA>**

※Q1-1-1と同じ選択肢。

55. 特になし※排他選択肢

**Q4-3-2. 貴団体が、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。<MA>**

※Q1-1-1と同じ選択肢。

55. 特になし※排他選択肢

※紙調査票ではQ4-3-1、Q4-3-2は統合。

**Q4-4-1. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。<MA>**

- |            |                |                 |
|------------|----------------|-----------------|
| 1. 観光      | 2. 国際交流        | 3. 教育           |
| 4. 経済・産業   | 5. 障がい福祉       | 6. スポーツ・健康増進    |
| 7. 子育て     | 8. 高齢者福祉       | 9. まちづくり・地域の活性化 |
| 10. 環境     | 11. IT         | 12. 農業          |
| 13. 林業     | 14. 漁業         |                 |
| 15. その他（ ） | 16. 特になし※排他選択肢 |                 |

※ 個人用の選択肢と一致

Q4-4-2. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」は何ですか。〈MA〉

※Q4-4-1と同じ選択肢。

※紙調査票ではQ4-4-1、Q4-4-2は統合。

Q4-4.1. 【「今後、『他の文化芸術分野』『社会分野』と接点・関わりを持ちたい」と回答した方にお聞きします】貴団体として、接点・関わりを持ってやってみたいことはどのようなことですか（※「特に接点・関わりを持ちたいと思わない」団体は未記入で結構です）。〈FA〉

( )

Q4-5. 異なる文化芸術分野間の連携や、文化芸術と社会分野の連携を推進していくために、どのような課題があると思いますか。〈MA〉

1. コーディネーターがない
2. 連携のための助成金・補助金がない
3. 異分野間をつなぐ仕組みがない
4. 他分野の情報がない
6. その他 ( )
7. 文化芸術分野間、文化芸術と社会分野の連携が必要とは思わない※排他選択肢（集計時に排他処理）
8. 特に課題はない※排他選択肢（システムで排他処理）

※ 個人用の選択肢と一致

Q4-6. 札幌市の文化芸術政策に求めること・期待すること、文化芸術の利用や、助成金・補助金に関する課題等があればお書きください。〈FA〉

( )

(文化部) Q3とQ4を合体し、『文化芸術活動に対する意識、課題やニーズについてお聞きする』としてはいかがか。(設問順：意識 Q4-1→Q4-5→課題・ニーズ Q3-1～3、Q3-4→Q4-6)

これでアンケート調査は終了です。ご協力、ありがとうございました。

## 調査入口ページの原稿案

## 札幌市文化芸術活動実態調査

札幌市では、文化芸術活動に関わる方々が新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることも踏まえて、文化芸術活動に携わられている方々の現状、課題及びニーズ等の実態を幅広く把握するためのアンケート調査を実施します。

調査結果は、札幌市が設置する「[札幌文化芸術未来会議](#)」等で、より効果的な短期及び中長期の文化芸術施策を検討するための基礎資料として活用いたします。また、調査結果報告書は調査結果報告書は、令和3年度以降、このウェブページで公開する予定です。

趣旨をご理解いただき、ご回答にご協力いただきますよう、お願いいたします。

- ・調査は文化芸術活動を行う個人向けと、団体向けの2種類がございます。
- ・ご回答の締切は令和3年2月16日（火）です（必着）。

## 個人向け調査

[個人向け調査のウェブアンケートフォームはこちら](#)（※外部サイトに進みます）。

- ・個人向け調査の対象は、札幌市に在住又は札幌市を主な活動の場として、文化芸術活動を行っている方です。
  - 文化芸術の直接的な表現者（演奏家、俳優、ダンサー、演出家、作家、画家等）及び、それを支える人々（プロデューサー、テクニカルスタッフ、コーディネート等）表現を技術や専門分野・企画等で支える幅広い方々、表現発表の本番・制作準備・運営管理を様々な形でサポートしている方々  
(木野)「それを支える人々(省略)」を「表現を技術や専門分野・企画等で支える幅広い方々、表現発表の本番・制作準備・運営管理を様々な形でサポートしている方々」に修正  
(佐久間)「表現者」の後ろに具体例として「(演奏家、俳優、ダンサー、演出家、作家、画家等)」を追加
  - 施設（劇場、ギャラリー、ライブハウス、表現の場を提供する場所等）で働く方々など、幅広い文化芸術のサポーターや担い手  
(木野) 施設の具体例のライブハウスの後ろに「表現の場を提供する場所」を追加  
(木野)「幅広い文化芸術の担い手」を「幅広い文化芸術のサポーターや担い手」に修正
  - 文化芸術の活動グループ、サークル、レッスン、愛好会、ボランティア等に参加している方など等  
(木野)「サークル」の前に、「活動グループ」を追加  
(佐久間)「サークル」の後ろに、「レッスン」を追加
- ・文化芸術活動を行っている団体・事業者の代表者等でご協力いただける方は、下の団体・事業者向け調査にもご協力をお願いしますご記入ください。
- ・調査票データをダウンロードしてご回答いただくことも可能です。返送方法は下記をご覧ください。

○個人向けダウンロード用調査票 ([MS-Word 形式](#)、[PDF 形式](#))

- ・~~ご回答は~~1人1回答でお願いします。

(古家) 複数分野で活動している人がいる可能性は？

## 団体・事業者向け調査

[団体・事業者向け調査のウェブアンケートフォームはこちら](#) (※外部サイトに進みます)。

- ・団体・事業者向け調査の対象は、札幌市を主な活動の場として、文化芸術活動を行っている団体・事業者です。代表者またはそれに代わる方がご回答ください。
- ・法人／任意団体・グループ、営利／非営利、活動場所が事務所等／自宅などの別は問いません。文化芸術活動を継続的に行っている団体であればお答えいただけます。
- ・調査票データをダウンロードしてご回答いただくことも可能です。返送方法は[下記](#)をご覧ください。

○団体・事業者向けダウンロード用調査票 ([MS-Word 形式](#)、[PDF 形式](#))

## ダウンロード用調査票の返送方法等 (個人向け、団体・事業者向け共通)

- ・ご回答は、ダウンロードした調査票ファイルに直接入力いただいても (MS-Word 形式の場合)、プリントアウトして手書きでご記入いただいても、どちらでも結構です。
- ・ご返送は、Eメール、FAX、郵送、いずれでも結構です。返信先は下記のとおりです。

### **【調査業務受託者】株式会社ノーザンクロス**

- ・Eメール：[bunkajittai-kaito@northerncross.co.jp](mailto:bunkajittai-kaito@northerncross.co.jp)
- ・FAX：011-232-4918 (~~株式会社ノーザンクロス~~)
- ・郵送：〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3番地1第36 桂和ビル7階 株式会社ノーザンクロス 札幌市文化芸術活動実態調査係
- ・~~ご回答は~~1団体1回答でお願いします。

## アンケート調査に関するお問い合わせ先

### **【調査業務受託者】株式会社ノーザンクロス**

- ・担当：井上、島崎
- ・電話：011-232-3661 (電話受付は平日9:00~18:00まで。なお、ノーザンクロスは新型コロナの感染状況を踏まえ在宅勤務を取り入れています。担当者からの折返し電話となる可能性もございます。ご了承ください)
- ・FAX：011-232-4918
- ・Eメール：[bunkajittai@northerncross.co.jp](mailto:bunkajittai@northerncross.co.jp)

## その他

- ・調査は無記名式で、調査結果は統計的に処理するため、個人・団体等が特定される形で公開されることはありません。

**このページについてのお問い合わせ**

札幌市市民文化局文化部文化振興課

〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 札幌時計台ビル 10 階

電話番号：011-211-2261

ファクス番号：011-218-5157